

令和2年度 第1回栃木市総合教育会議 会議録

1. 日 時 令和2年7月13日(月) 午後1時30分～午後2時44分

2. 場 所 栃木市役所 議会会議室

3. 出席者

(構成員) 大川秀子 市長、青木千津子 教育長、後藤正人 教育長職務代理者、
福島鉄典 委員、西脇はるみ 委員、大橋孝子 委員、
館野知美 委員、林慶仁 委員

(事務局) 小保方 総合政策部長、増山 総合政策部副部長兼総合政策課長、
川津 教育部長、名淵 生涯学習部長
江面 教育総務課長、大阿久 参事兼学校教育課長
柿沼 学校施設課長、五十畠 保健給食課長
佐藤 生涯学習課長、押山 スポーツ振興課長、他担当職員

4. 内 容

(1)開 会

(2)あいさつ

○大川市長

お忙しい中、第1回総合教育会議にご参考を賜りまして誠にありがとうございます。委員の皆様には日ごろから市政運営、教育行政にご協力を賜っておりますことを改めて御礼を申し上げます。

昨年度の台風19号に続き新型コロナウイルス感染症への対応により多難な日々を送っている状況であります。特にこの新型コロナウイルスでありますが、共生という新たな考え方もありますが、やはり相手が分からぬだけあり、非常に通常の運営のみでは困難な状態となっております。世界的な問題ではありますが、我々も一つ一つの事に対し迷いながら判断しなければならない状況であります。

そのため、緊急の判断が必要な時に、協議事項を皆様に事前協議できずにご迷惑をおかけして心よりお詫び申し上げます。しかしながら一番大変なのは子供達への負担、そして先生方への負担、そして保護者への負担があると感じています。

全国ではまだまだ感染が収まらないどころか拡大をまた始めている中で、保育園や学校での集団生活の中で感染が広まらないよう、我々は危機感を持っておりますが、今後その対策、対応にあたりながら的確な判断をしてまいりたいと考えております。是非委員の皆様のご協力をお願い申しまして、ご挨拶とさせていただきます。

(3)協議・調整事項

新型コロナウイルス感染症への対応 ①学校生活の状況について

○事務局

※資料により説明

○大川市長

事務局より説明がありました。皆さんからご質問、ご意見をいただきたいと思います。

○館野委員

夏休み中の宿題について栃木中央小学校は無いと聞いたが、市全体としての判断なのか、学校ごとの判断なのかをお聞きしたい。

○事務局

市としての判断は未定である。そもそも夏休みの期間が2週間なので、例年より少ないとは思う。各機関からの作品募集は例年通りあるが、その分があったとしても最低限になると考えられる。今後情報収集する。

○福島委員

2ページのアンケート結果の中に「支援が必要な児童生徒」とあるが、どの様な悩みや不安がある児童生徒なのか。

○事務局

そこまでの詳細な調査はできていない。今後の教育相談にて詳細に調べていく。特に小学校の新入生に関しては最初の2日間登校して2ヶ月の休校となってしまったため、そういった不安もあると考えられる。

○福島委員

休校が原因による家庭内DVなどが世間では話題になっているが市内ではどうか。

○事務局

家庭内DVに関して数件あったとの報告を受けております。

○林委員

4ページの「自主的に登校しない児童生徒等」への対応も含め、オンライン授業等の整備は現状ではどのような進捗状況か。

○事務局

GIGAスクール構想については検討中であり、予定では来年度から出来るよう調整中である。またeラーニング等に対応するためPCの入れ替え等を行い対応していく、機器の整備の進み具合による学習量に差が出ないようにしていく。

○大川市長

GIGAスクール構想も昨年に国から指示があったところに新型コロナウイルス感染症問題が起こってしまった。国が来年から行うように指示があったため、それに向けて来年度より全国一斉に実施できるよう動いている所である。端末も予算は確保してあるが、モノが不足する恐れがある。私立のように一旦は独自財源で早く購入するような場合と比較すると差が出る場合があるとは思うが、可能

な限り早く整備できるように進めていきます。

○後藤委員

市が、子どもを第一に考えており、アンケートの調査が早かったのは良かったと思う。ただし、子どもの考えは短いスパンで変わるものである。オンライン授業も最初は楽しいと思うかもしれないが、次第に学校に行きたくなると思う。短いスパンで項目を変えながらこれからもアンケートを実施して、今後の教育に活かせるような調査を行って欲しい。

○大川市長

先生の負担も大きいと聞く。また友達と一緒に学ぶことも大切だと思っております。

○大橋委員

アンケートの結果に関して平常時のものが無いため比較できない。それでも「なかなか眠れないことがある 非常にある」と回答する小学校低学年が10%もいることは異常ではないか。この結果を個々の保護者へ伝えて、ケアをしていって欲しい。

○事務局

個別に教育相談を受け、そのような実態が分かる場合は保護者や児童へ直接指導を各学校にて行っている。またアンケート全体の結果を保護者へ通知することに関しては検討する。

○青木教育長

7月の定例校長会でも校長先生にお願いした事ですが、保護者が安心できるような情報提供と納得できるような具体的な数値等の説明をしてもらいたい。現状の調査や情報提供を学校ごとによってさまざまな手法をとって行っているが、全校で統一されたより良い調査が行われるように指示していきたい。

新型コロナウイルス感染症への対応 ②学校での感染症対策の状況について

○事務局

※資料により説明

○大川市長

事務局より説明がありました。皆さんから質問、ご意見をいただきたいと思います。

○福島委員

「学校における対策マニュアル」をよく読みました。大変に良くできており良いと思います。ただその中に最初の新型コロナウイルス感染者になってしまうのは仕方ない、なっても大丈夫というメッセージ性をより含めてほしい。人権教育の面においても重要なことと考えます。

○事務局

マニュアル1ページの基本方針の第3番目に謳ってありますが、道徳の時間などで学んでいくように検討します。

○青木教育長

校長研修会等でそのメッセージは発信してまいります。

○林委員

この対策マニュアルはどのように配布しているのか。

○事務局

学校ごとにデータで送信配布している。それを各学校において教職員へ回覧し、各自必要に応じて印刷している。

○林委員

このマニュアルは非常に大事なものである。学校だよりを見ていると新型コロナウィルス感染症への対策についての情報発信が遅く弱い。以前の経験ではあるが、ある学校では何年も前にマニュアルを1冊学校に備えただけでそのまま埃を被ったままで誰も読まず、そこで事故が発生した事例がある。折角出来の良いマニュアルを作成したのだから全教員に対し紙で1冊いきわたるようにして欲しい。

○大川市長

私も職員が良く作ってくれたと思う。折角なので活用してもらいたい。電子化が進む中でもこのようなものは紙にして持っておくのも大切だと思う。全教員に読み込んでもらいたい。

○青木教育長

マニュアルを電子データで配布している理由の一つに、このマニュアルの元となる国の動向や通知などが、非常に短いスパンで改訂されていることがあります、全職員に周知するように努めます。

○林委員

もうこのマニュアルは栃木市の特色としてそこまでこまめに変えなくても良いと思う。

○事務局

各教員にマニュアルが行き渡っているかについて改めて確認します。

○館野委員

「3. 課題　・消毒業務等の業務が、教職員の負担となっている。」に対して今後どの様に対処していくのか。

○事務局

特に水回りの消毒に関して中学校は現在生徒が衛生的な装備をして行うようにしている。小学校はまだ現状のままで検討中です。

○西脇委員

教室のみではなくパソコン室や、音楽室はどうか。

○事務局

複数児童が使用するものに関しては全て教員が行っている。

○青木教育長

ボランティアが入っている学校がどの程度あるのか。

○事務局

7月1日以降4か所の小中学校（皆川中・小野寺小・千塚小・国府北小）に入

っている。

○大川市長

栃木県で1, 200人スクールソポーターが入ると聞いている。

○青木教育長

小・中学校共に6クラス以上の学校には1人ずつ配置できるよう予算取りを行い、学習指導員も各小・中学校ごとに1名ないし2名ずつ配置することを予定している。ただし、正式な文書が来ていないのでまだ予定ではある。問題は人員が集まるかである。

○大川市長

国で掲げていく事業になるのでしっかりソポーターを確保して実施していくように。

新型コロナウイルス感染症への対応 ③施設修繕の状況について

○事務局

※資料により説明

○大川市長

事務局より説明がありました。皆さんから質問、ご意見をいただきたいと思います。

○林委員

吹上小学校の給食共同調理場の建設があまり進んでいないように見えるのですが。

○事務局

建設中のため進展が見えにくいですがスケジュール通り問題なく進んでおります。

○西脇委員

国庫補助の補助率の割合は決まりがあるのか。たとえば三鴨小学校の屋内運動場改修工事など。

○事務局

制度によって補助率が違いますがあります。三鴨小学校の屋内運動場改修工事の補助率については1/3となります。参考までに災害復旧については2/3、トイレ改修工事については1/3、吹上小学校の調理場の既存部分については1/3、増築部分については1/2、ICT環境については、ネットワーク整備は1/2、端末整備は1台につき45,000円となる。ネットワークセキュリティ対策については補助対象外となる。

○大川市長

全てのトイレ改修工事が終わるのはいつか。

○事務局

小学校は完了しています。中学校は来年度にて完了予定です。

○大川市長

夏休み中に整備するとのことだが、もし遅れることがあるような場合、夏休みだけでは期間が短いので授業中もやってしようがないのではないか。

○事務局

中学校は受験等があるため出来るだけ予定通りに行っていきたい。

新型コロナウイルス感染症への対応 ④学校開放施設の状況について

○事務局

※資料により説明

○大川市長

事務局より説明がありました。皆さんから質問、ご意見をいただきたいと思います。

○福島委員

この議題とは関係ないことだが中学校3年生の部活動の最後はどのようになるのか。

○事務局

7月27日までに引退となる。それを踏まえ、このまま部活動を続けるか勉強に専念するかについてアンケートを行い、動向調査をした。しかし県の運動に関しての方針が変わり、7月1日から剣道等の密になる部活動を除き市内での交流戦は行うことが可能となり、それにより動向も変化したと思われるためもう一度確認する予定である。

○大川市長

先生も悩むところではあるが、出来るだけ引退試合はさせてあげたいと思う。

(4)その他

※事務局から次回の日程等について説明を行った。

(5)閉会 (14:44)